

交通安全ながさき

平成25年

あけましておめでとうございます



長崎県諫早市小長井町打越より

平成25年交通安全運動期間

春の全国交通安全運動	4月 6日(土)～15日(月)
夏の交通安全県民運動	7月10日(水)～19日(金)
秋の全国交通安全運動	9月21日(土)～30日(月)
年末の交通安全県民運動	12月15日(日)～24日(火)

平成25年全国交通安全年間スローガン

内閣総理大臣賞(最優秀作)

運転者(同乗者を含む)に対するもの

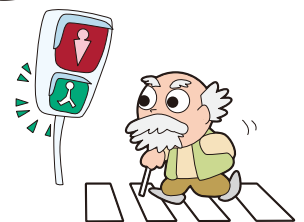
スマホ手に 車や自転車 事故のもと

歩行者・自転車利用者に対するもの

お年寄り 孫のお手本 いい横断

こども部門

ヘルメット ぼくのだいじな おともだち



平成24年長崎県内の交通事故発生状況

発生件数 7,032件(前年比 -221件) 死者数 39人(前年比 -8人) 負傷者数 9,138人(前年比 -185人)

県年間スローガン

守ろう交通ルール 高めよう交通マナー

新年のご挨拶



財団法人長崎県交通安全協会 会長 川添 忠彦

新年明けましておめでとう
ございます。

皆様方には、ご家族お揃いで明るく希望に満ちた清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素から交通安全協会の諸活動にご理解とご支援を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年一年間を振り返って見ますと、八月四日(土)、五日(日)の両日、全日本交通安全協会が主催して、三重県下の鈴鹿サーキットで開催された第四十五回二輪車安全運転全国大会では、個人の部において高校生等クラスに出場した本県代表選手が全国優勝するという快挙を果たし、団体の部でも本県チームは、出場

した四十六都道府県チーム中第十一位と健闘しました。

一方、昨年の本県における交通事故発生状況は、発生件数、死者数、負傷者数とも前年より減少し、中でも死者数については、三十九人と、現行警察法が施行された昭和二十九年以降最も少ない数となっております。

しかしながら、交通死亡事故の発生状況等を見ますと、全死者数に占める高齢者の割合は、平成十六年以降九年連続で五割を超える高水準で推移し、昨年はその中でも最も高い六十四・一%を占めており、今後、「第九次長崎県交通安全計画」に掲げられた「平成二十七年までに年間交通事故死者数を四十人以下、負傷者数を七千五百人以下にする」という目標を達成していくためには、高齢者の交通事故防止対策をいかに進めていくかが大きな課題になると思っております。

このような観点から、長崎県交通安全協会では、本年の活動の基本方針を、

○子どもと高齢者の交通事故

防止

○自転車の安全利用の推進

○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

○飲酒運転の根絶

○子どもと高齢者の交通安全教育・指導等

○自転車の安全利用の指導・広報

○全ての座席のシートベルト等の着用運動の推進

○ハンドルキーパー運動の推進

などを最重点に各種の交通安全活動を推進し、交通事故のない安全で安心な長崎県づくりの一翼を担いたいと思っております。会員の皆様におかれましては、どうか、当協会の活動につきご理解いただき、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、会員の皆様にご利用をいただいております「交通安全協賛店」は、平成二十四年十二月末現在、ガソリン給油所、飲食店、宿泊施設、自動車・自転車販売修理店など県内六一八店舗となっております。会員の皆様は、交通安全協賛店で「会員証と免許証」を提示していただき

ますと、商品料金の割引等のサービスを受けることができますので、どうか、「交通安全協賛店ガイドブック」で、協賛店名やサービス内容などをご確認の上、お気軽にご利用いただきたいと思います。

終わりに、会員の皆様方ますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



長崎県警察本部長 入谷 誠

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

長崎県交通安全協会の皆様におかれましては、平成二十年の輝かしい新春をお迎え

になられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、交通安全活動をはじめ警察業務の各般にわたり、深いご理解とご支援をいただきましたことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の交通事故の発生状況であります。全国又は本県におきましても発生件数、死者数、負傷者数いずれも前年と比較して減少しております。

全国の死者数は四千四百四十一人で十二年連続して減少し、本県の死者数は三十九人で前年と比べ八人減少しました。

これは、交通安全協会をはじめとする交通関係機関・団体や交通ボランティアの方々の街頭活動や広報啓発活動の賜であり、皆様の御労苦に対し感謝を申し上げます。

しかしながら、交通事故の内容を見てもみすと、高齢者の死者数は、二十五人で前年と比べ二人減少しましたが、全死者数の六十四・一%を占め、平成十六年以降九年連続で五割を超える高率で推移しております。

また、飲酒運転による交通

事故は、発生件数七十八件、死者数四人といずれも前年と比べ増加し、未だに後を絶たない状況にあるなど本県の交通事故情勢は厳しいものがあります。

加えて昨年のシートベルト着用率及びチャイルドシート使用率調査の結果、県内の一般道においては、運転席のシートベルト着用率が九十九・五％と六年連続して日本一であり、高速道路におけるシートベルト着用率は、運転席、助手席、後部座席ともに日本一でありましたが、一般道での後部座席シートベルト着用率については三十五・〇％で、また、チャイルドシートの使用率については六十三・一％であり、まだまだ定着しているとは言えない状況にあります。

このような情勢を踏まえ、長崎県警察では、昨年引き続き平成二十五年も

○高齢者の交通事故抑止対策

○飲酒運転の根絶対策

を死亡事故抑止対策の重点とするほか、全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底に向けた

対策や協見・ぼんやり運転防止対策などを講じていくことで、交通死亡事故の抑止を図り、県民の皆様や長崎県を訪れる方々が、安全で安心な長崎県を実感できるように最大限の努力をしてまいりる所存であります。

長崎県交通安全協会におかれましても、各季の交通安全運動などを通じて、高齢者宅訪問活動による交通安全指導や反射材の着用促進等の高齢者の交通事故抑止対策、ハンドルキーパー運動や酒類提供飲食店訪問活動等の飲酒運転根絶対策、自転車安全利用五則の周知徹底等の自転車安全利用対策、全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底等の被害軽減対策などを積極的に推進していただきますようお願い申し上げます。

おわりに、長崎県交通安全協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



交通安全栄誉章等受章(賞)者の皆様おめでとうございます



交通安全国民運動中央大会表彰式状況

交通安全功労者

多年にわたり、交通安全のために献身的な尽力をし、交通事故の防止と交通秩序の確立に抜群の功績があつた方に贈られます。



(1) 河野 知周氏
西彼杵郡時津町



(2) 岡富 貞吉氏
大村市

の確立に顕著な功績があつた方に贈られます。

優良運転者

- (1) 宅島 永紀氏 雲仙市
- (2) 大畑 利治氏 松浦市
- (3) 尾崎 嘉弘氏 佐世保市
- (4) 上田 儀一氏 長崎市
- (5) 高瀬三代治氏 長崎市

交通安全優良団体等

- (1) 坂本 進氏 長崎市
- (2) 野瀬 千足氏 長崎市

交通安全優良団体

交通安全運動を積極的に推進し、交通事故の防止に顕著な功績があつた団体に送られます。

○早岐交通安全少年団

優良交通安全協会

交通安全活動が積極的で、交通事故防止に顕著な成績を挙げた交通安全協会に贈られます。

○一般社団法人

上五島地区交通安全協会

交通安全栄誉章

「緑十字金章」

表彰者：警察庁長官・財全日本交通安全協会会長連名

交通安全功労者

「緑十字銀章」

表彰者：警察庁長官・財全日本交通安全協会会長連名

交通安全功労者

多年にわたり、交通安全のために献身的な尽力をし、交通事故の防止と交通秩序

交通警察出動式の実施 ～年末の交通安全県民運動の初日～

年末の交通安全県民運動初日の12月12日(水)、大村警察署横の運転免許試験場駐車場において、交通警察出動式が行われました。出動式では、最初に原交通部長が「期間中の交通死亡事故ゼロを目指して交通指導取締りや広報啓発活動を」と訓示した後、石橋県民生活部長らが来賓挨拶を行い、服装点検、車両点検を行いました。その後、パトカー5台、白バイ18台が、「飲酒運転の根絶、高齢者の交通事故防止、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」等について大村市内広報パレードを行いました。なお、出動式には近くの放虎原幼稚園児約30人が見学、パトカー等への体験乗車を行うなど賑わいました。



全国交通安全指導員情報交換会の開催

一本県は「水戸黄門の交通安全」を熱演

平成24年12月14日(金)、東京都内において、本田技研安全普及本部主催の「平成24年度全国交通安全指導員情報交換会」が開催されました。今回は、全国5ブロックから選ばれた10名の交通安全指導員が参加し、日頃の交通安全教育指導内容を発表した後に出席者全員で意見交換を行いました。この催しは、他県の指導内容を見聞し、参考事例を積極的に取り入れることにより、交通安全指導員全体のスキルアップを図ろうとの趣旨で開催されたものです。本県からは大村市交通安全協会交通安全指導員の永野指導員と田端指導員が参加し、後部座席のシートベルト着用指導の際に用いる寸劇「水戸黄門の交通安全～助さんが残した旅日記～」の事例発表を行いました。他県の参加者から「台本やDVDを送ってください」と要望されるなど好評でした。永野指導員らは「良い経験になった、今後の活動に生かしたい」などの感想を述べていました。

交通安全協会の活動にご協力を！

交通安全協会は、悲惨な交通事故をなくし、安全・安心な長崎県を実現するため、主に次のような活動を行っています。

- 「子どもと高齢者の交通事故防止」「飲酒運転の根絶」等交通安全キャンペーン
- 高齢者、子ども等に対する街頭での交通安全指導
- 新入学児童に対する黄色い帽子、ランドセルカバー等の贈呈
- 会員に対するチャイルドシートの無料貸出し
- 交通安全子ども自転車大会、二輪車安全運転大会の開催による自転車、二輪車事故の防止等

これらの活動経費は、皆様方の会費によって支えられています。

悲惨な交通事故を防止するため、皆様の交通安全協会への入会によるご協力をお願いします。

交通安全協会の会員になると、次のような特典があります!!

会員の皆さんが、交通安全協会協賛店で「会員証と免許証」を提示していただきますと、料金割引等のサービスを受けることができます。交通安全協会協賛店は、県下のガソリンスタンド、飲食店、宿泊施設、自動車・自転車販売修理店など618店舗（平成24年12月末日現在）です。

詳細は長崎県交通安全協会ホームページ並びに「協賛店ガイドブック」でご確認ください。

お問い合わせは長崎県交通安全協会又は地区（市）交通安全協会へ
（長崎県交通安全協会） ☎ 095-845-1770
<http://www.nagasaki-kotsu.or.jp/>



携帯でもアクセス
できます